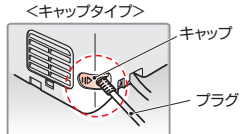



# 不具合がおこったときのアドバイス

不具合がおこたらまずこの頁をご覧ください。処置方法をためしてみてください。

それでも直らないときは、もう一度、2・3 ページで該当のタンクを確認して施工内容をチェックしてください。

現象	確認	処置方法
全く作動しない (モータ音もしない)	便器洗浄ユニットのプラグがウォシュレット背面の接続口に確実に根元まで差し込まれていますか?	プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける 
全く流れない (モータ音はするが)	「玉鎖」がはずれていませんか?	玉鎖をレバーに正しく取り付ける ☞ 施工説明書の該当ページ参照
	「玉鎖」がゆるみすぎていませんか?	玉鎖をレバーに正しく取り付ける ☞ 施工説明書の該当ページ参照
	「リモコン設定」が間違っていますか?	リモコンを正しく設定しなおす ☞ 施工説明書の該当ページ参照
	「ストッパー」の選択を間違えていませんか? 	正しいストッパーを取り付ける ☞ 施工説明書の該当ページ参照
流れが悪い (モータ音はするが)	「玉鎖」がゆるみすぎていませんか?	玉鎖をレバーに正しく取り付ける ☞ 施工説明書の該当ページ参照
止水しない	「玉鎖」が張りすぎていませんか?	玉鎖をレバーに正しく取り付ける ☞ 施工説明書の該当ページ参照
	レバーが何かに干渉していませんか?	レバー、ワッシャーを正しく取り付ける ☞ 施工説明書の該当ページ参照
動作音がする	洗浄時にモータの音がするが異常ではありません	

## その他取り付け可能な便器・タンク品番

便器品番	ロータンク品番	施工手順ページ
C418系 C419系	一般地	P.4~8
	寒冷地	

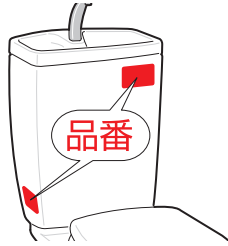

# TOTO

施工者様向

## 便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用(密結便器右ハンドル大のみ)

ロータンク・便器・洗浄方式によって施工方法と取付ける便器洗浄ユニットが異なります。

ロータンク品番	便器品番
	

施工可能なロータンク・便器の品番一覧を2ページの「施工前に確認する情報」に記載しておりますのでご確認ください。

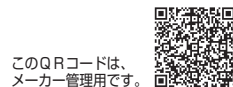
※記載されていないロータンク・便器には取り付けできません。  
※対応していない便器洗浄ユニットを取り付けると故障の原因となります。

試運転と作動確認も  
忘れないでね!

リモコン操作で  
水が流れない



水が止まらない



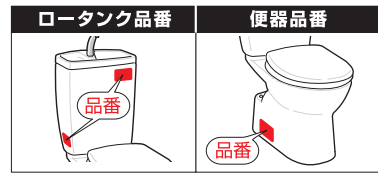
# 施工前に確認する情報

ロータンク・便器品番によって施工方法と使用する部品が違います。

ロータンク・便器の品番は下記の場所に記載しております。

※対応していない便器洗浄ユニットを取り付けると故障の原因となります。

使用する部品袋を選び、施工手順ページにしたがって施工を行ってください。



ロータンク・便器品番が  
確認できない場合  
ロータンクの特徴早見表  
を3ページで確認する

便器名称	便器品番	ロータンク品番	使用する部品袋	施工手順ページ
—	C710系 C720系	寒冷地 S710BN/S721BN ※右ハンドル	緑色袋 透明袋	P.4~8 (小洗浄付きタイプも 大洗浄のみとなります)
—	C420	一般地 S516 (B) S517 (B) S518 (B) 寒冷地 S516BF-B S517BF-B S518 (B)		
コンパクト リモデル	CS590B系	一般地 SS590B系 SS591B系 ※右ハンドル(左給水のみ)	緑色袋 透明袋	P.9~13
パブリック リモデル (タンク式)	CS595系	一般地 SS594B系 SS595B系	緑色袋 透明袋	P.14~18

※その他取り付け可能な便器・タンク品番は裏表紙をご参照ください。

# ロータンクの特徴早見表

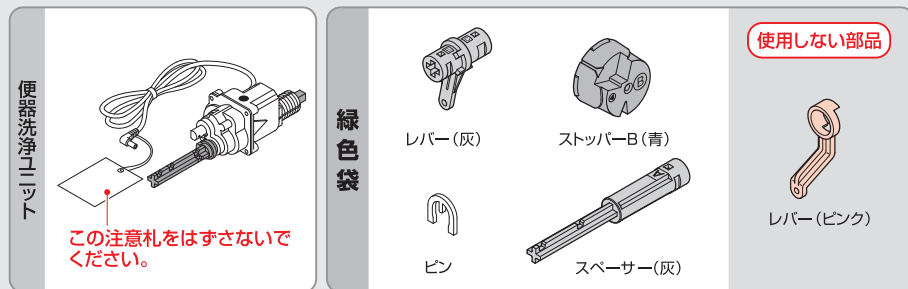
ロータンクの特徴を確認し使用する部品袋を選び、施工手順ページにしたがって施工を行ってください。

ロータンクの特徴	使用する部品袋	施工手順ページ						
<p>黒い半球状ゴムの フラッパー弁</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>防露タンク</th> <th>防露なしタンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>228(220) 460 ハンドル 右 450(435) ( )は手洗なし</p> </td> <td> <p>220 420 ハンドル 右 450(435) ( )は手洗なし</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>228 420</p> </td> <td> <p>223(200) 420</p> </td> </tr> </tbody> </table>	防露タンク	防露なしタンク	<p>228(220) 460 ハンドル 右 450(435) ( )は手洗なし</p>	<p>220 420 ハンドル 右 450(435) ( )は手洗なし</p>	<p>228 420</p>	<p>223(200) 420</p>	<p>P.4~8 (小洗浄付きタイプも 大洗浄のみとなります)</p>
防露タンク	防露なしタンク							
<p>228(220) 460 ハンドル 右 450(435) ( )は手洗なし</p>	<p>220 420 ハンドル 右 450(435) ( )は手洗なし</p>							
<p>228 420</p>	<p>223(200) 420</p>							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>防露なしタンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>228 420 ハンドル 右 505(430) ( )は手洗なし</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>223(200) 420 ハンドル 右 475(400) ( )は手洗なし</p> </td> </tr> </tbody> </table>	防露なしタンク	<p>228 420 ハンドル 右 505(430) ( )は手洗なし</p>	<p>223(200) 420 ハンドル 右 475(400) ( )は手洗なし</p>	<p>緑色袋 透明袋</p>			
防露なしタンク								
<p>228 420 ハンドル 右 505(430) ( )は手洗なし</p>								
<p>223(200) 420 ハンドル 右 475(400) ( )は手洗なし</p>								
	<p>※右ハンドルのみ</p> <p>160 450 ハンドル 右 500(470) ( )は手洗なし</p>	<p>P.9~13</p>						
	<p>500(470) ハンドル 右 ( )は手洗なし</p>	<p>P.14~18</p>						

# C420 / C710・720系

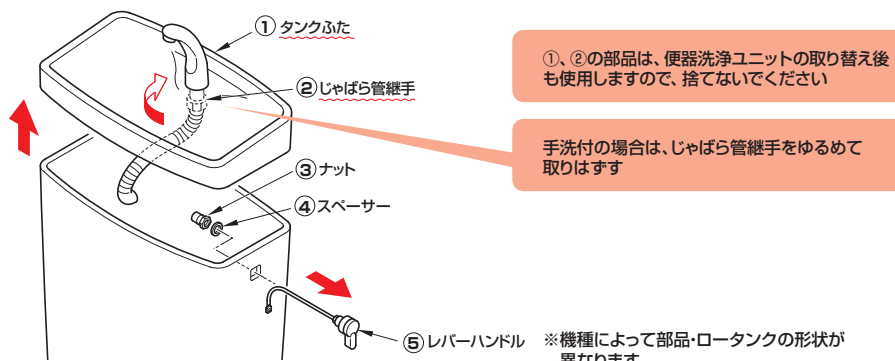
ロータンク用部品類	S516(B)	S710BN
	S517(B)	S721BN
	S516BF・B	
	S517BF・B	
	S518(B)	

赤色袋 は使用しません。



## 1 既設レバーハンドルの取りはずし

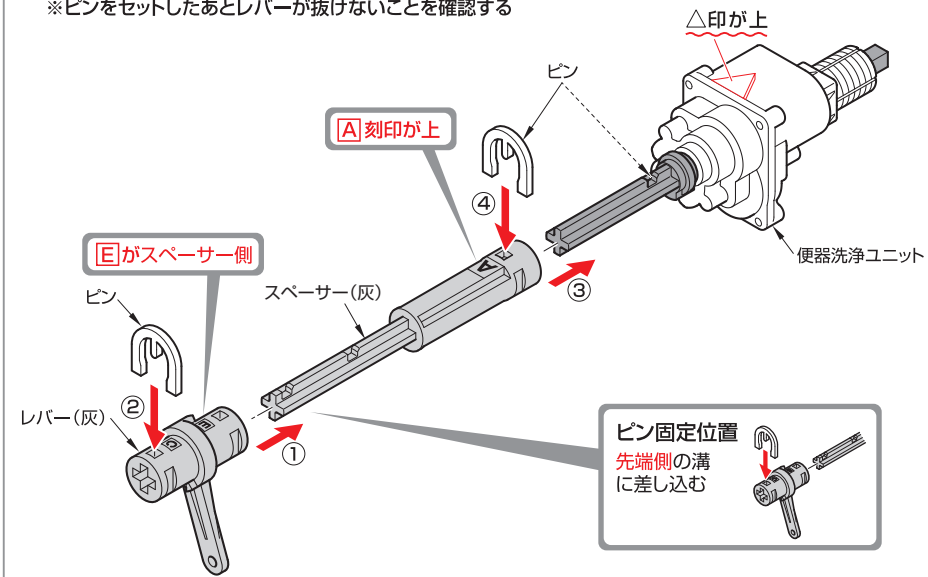
止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜いてから①～⑤の手順で部品を取りはずす



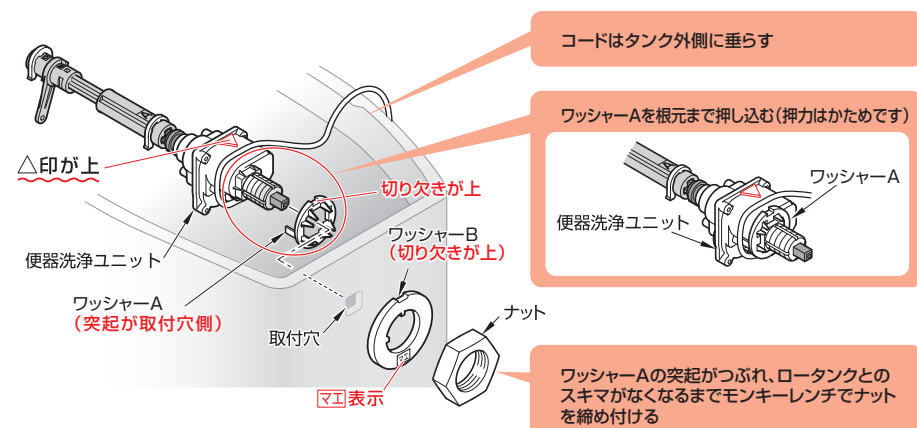
## 2 便器洗浄ユニットの取り付け

### ① 便器洗浄ユニットの△印を上にしてレバー(灰)、スペーサー(灰)、ピンを取り付ける

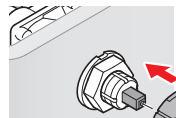
※ピンをセットしたあとレバーが抜けないことを確認する



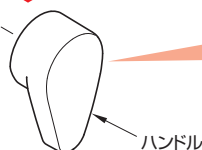
### ② 便器洗浄ユニットの△印を上にしてロータンクに取り付ける



### ③ ハンドルを取り付ける



ストッパーB(青)  
サラねじ  
φ3×10



ハンドル

注意  
◀印を左にして取り付け  
サラねじで締め付けること

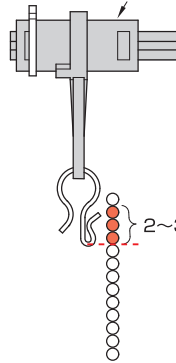


◀印が左

**カチッ**と音がするまでハンドルをはめこむ

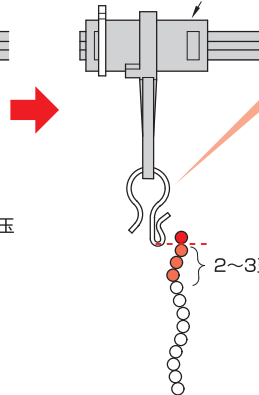
### ④ 排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態から、 2~3玉ゆるませ取り付ける

レバー(灰)



2~3玉

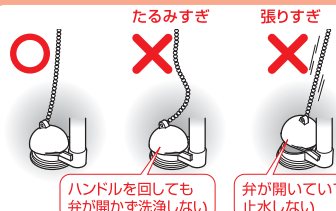
レバー(灰)



2~3玉

必ず透明袋に入っている  を使用してください

玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていると、  
水量/止水トラブルになります



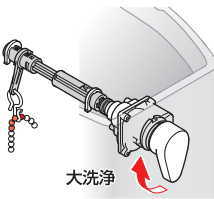
たるみすぎ

張りすぎ

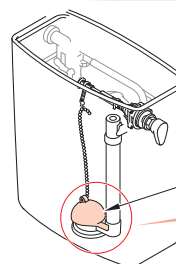
ハンドルを回しても  
弁が開かず洗浄しない

弁が開いていて  
止水しない

### ⑤ ハンドルと排水弁の作動を確認する レバーがボールタップなどに干渉しないこと

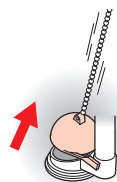


大洗浄



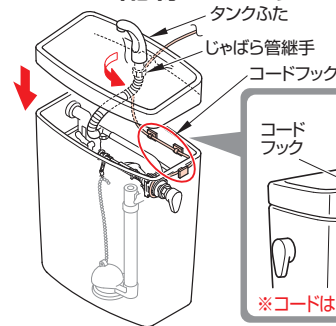
排水弁

「大」側に回すと、排水弁が開く



### 3 コードを配線する

#### コードを配線し、じゃばら管継手、タンクふたを取り付ける



タンクふた

じゃばら管継手

コードフック

コードフック

切欠部

コード

※コードはふたでつぶさないこと

- ① コードフックの貼り付け位置を決める  
※水がかからない位置にしてください
- ② 貼り付け位置の表面を付属のサンド  
ペーパーでこする  
※こすった後の粉はとってください
- ③ コードフックをしっかりと貼り付ける
- ④ じゃばら管継手を手洗金具にねじ  
込む(手洗付の場合)
- ⑤ コードをふたの切欠部に通して配  
線する

### 4 ウォシュレットにプラグ(便器洗浄ユニット)を接続する

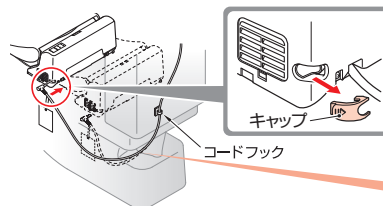
#### ① ウォシュレットを施工する ←ウォシュレット施工説明書を参照

**注意** ウォシュレットを施工した後、プラグの取り付けと便器洗浄モードの設定が必要です。

#### ② ウォシュレットの電源プラグを抜く

#### ③ プラグ(便器洗浄ユニット)を取り付ける

##### ① キャップをはずす

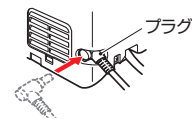


コードフック

キャップ

コードの長さは、ウォシュレットの  
着脱ができる余裕を設けてください。

##### ② プラグを横向きで根元まで確実に差し込む



プラグ

##### ③ キャップを取り付ける



キャップ

プラグ

#### ④ ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

次ページの ⑤ 便器洗浄モードの設定へ

## 5 C420/C710・720系便器洗浄モードの設定

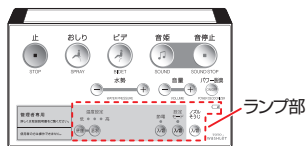
リモコンで便器洗浄させるために次の設定が必要です。  
手順にそって設定してください。

※ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

※リモコン送信部を  
ウォシュレット受信部に  
向けて設定する。



### ① 止+ビデ:10秒以上押す



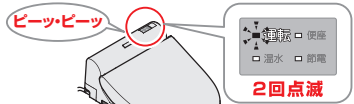
▶ リモコンのランプが全点滅します。

※ノズルそうじ入/切ボタンを5秒以上押すと、電子音とランプ点滅の回数で、現在の設定位置を確認できます。

### ② おしり:5秒以上押す



▶ ウォシュレットから電子音が「ピーッ・ピーッ」と鳴ると同時にウォシュレット本体表示部の  
運転ランプが2回点滅する位置に設定する。設定位置になるまで②の作業を行ってください。



出荷時の  
設定位置



### ③ ノズルそうじ:5秒以上押す

▶ 正しい設定位置に設定されているかを確認する。  
ウォシュレットから電子音が「ピーッ・ピーッ」と鳴ると同時にウォシュレット本体表示部の  
運転ランプが2回点滅するかを確認する。設定位置になるまで②の作業を行ってください。

### ④ 止:押す



▶ 設定完了

## 6 作動確認

次のようにハンドルが作動するかを確認ください



「流す」スイッチを押す ▶ ハンドルが大側に回転する

※連続して押すと作動しません。約10秒たってから、もう一度スイッチを押してください。

## 7 必ず19ページの「試運転と作動確認」を行うこと

## コンパクトリモデル

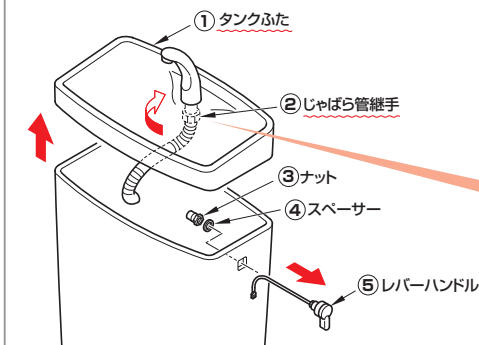
ロータンク品番  
SS590B系  
SS591B系

**赤色袋** は使用しません。

使用部品	便器洗浄ユニット	レバー(灰)	ストッパーB(青)	使用しない部品
	この注意札をはずさないでください。	ピン	スペーサー(灰)	レバー(ピンク)
透明袋	ワッシャーA	ワッシャーB	ナット	ピン
	クリップ(2個)	ハンドル	コードフック(7個)	サンドペーパー
			サラねじ(ストッパー用) φ3×10	使用しない部品
				ストッパーA(黒)

## 1 既設レバーハンドルの取りはずし

止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜いてから①～⑤の手順で部品を取りはずす



①、②の部品は、便器洗浄ユニットの取り替え後も使用しますので、捨てないでください

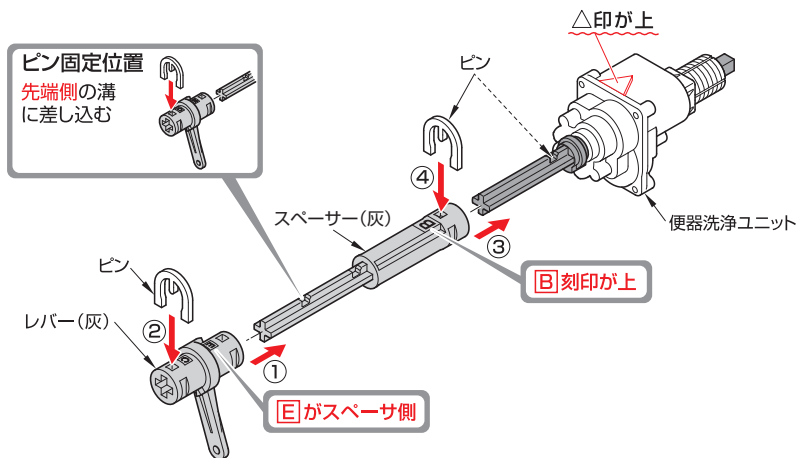
手洗付の場合は、じゃばら管継手をゆるめて取りはずす

※機種によって部品・ロータンクの形状が異なります。

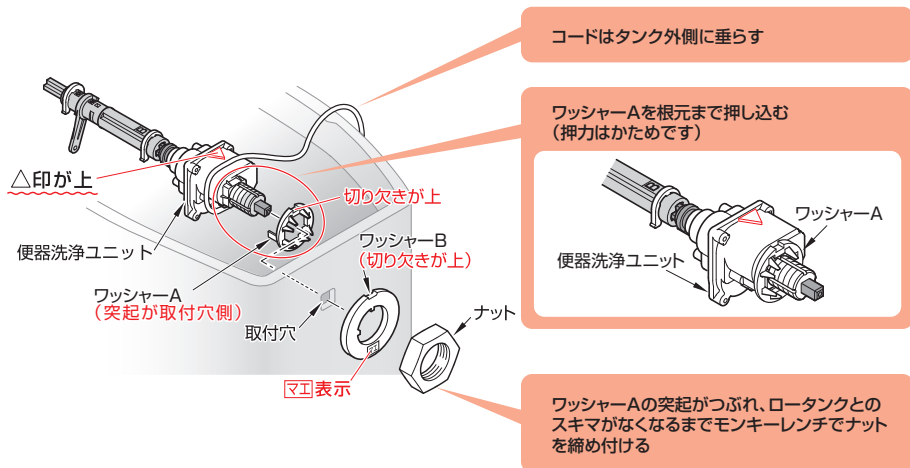
## 2 便器洗浄ユニットの取り付け

### ① 便器洗浄ユニットの△印を上にしてレバー(灰)、スペーサー(灰)、ピンを取り付ける

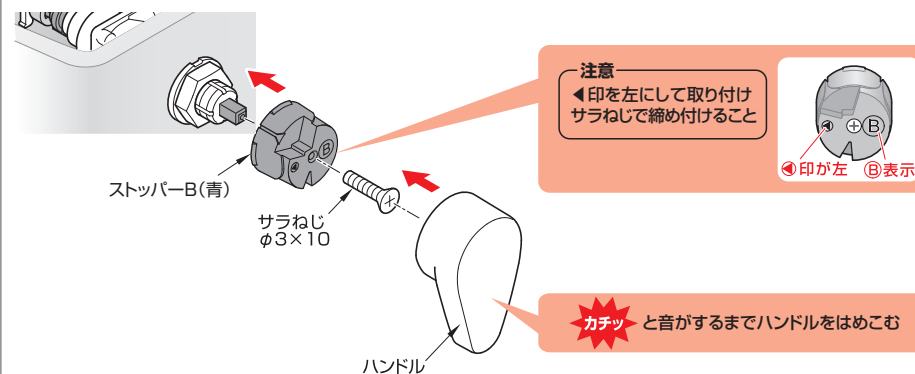
※ピンをセットしたあとレバーが抜けないことを確認する



### ② 便器洗浄ユニットの△印を上にしてロータンクに取り付ける



### ③ ハンドルを取り付ける

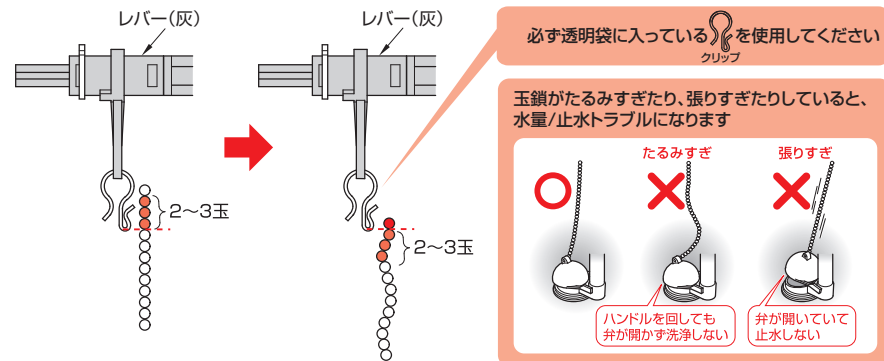


注意  
△印を左にして取り付け  
サラねじで締め付けること



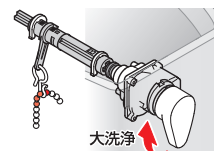
カチッ と音がするまでハンドルをはめこむ

### ④ 排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態から、2~3玉ゆるませ取り付ける

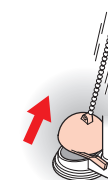
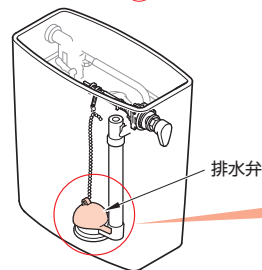


### ⑤ ハンドルと排水弁の作動を確認する

レバーがボールタップなどに干渉しないこと

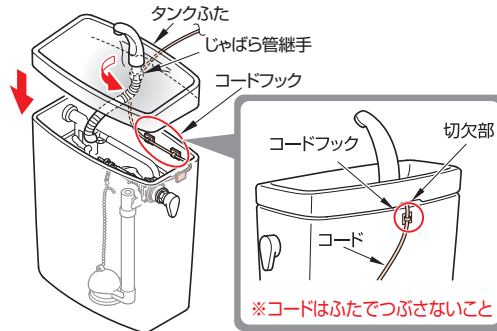


「大」側に回すと、排水弁が開く



### 3 コードを配線する

#### コードを配線し、じゃばら管継手、タンクふたを取り付ける



- ① コードフックの貼り付け位置を決める  
※水がかからない位置にしてください
- ② 貼り付け位置の表面を付属のサンドペーパーでこする  
※こすった後の粉はとってください
- ③ コードフックをしっかりと貼り付ける
- ④ じゃばら管継手を手洗金具にねじ込む(手洗付の場合)
- ⑤ コードをふたの切欠部を通して配線する

### 4 ウォシュレットにプラグ(便器洗浄ユニット)を接続する

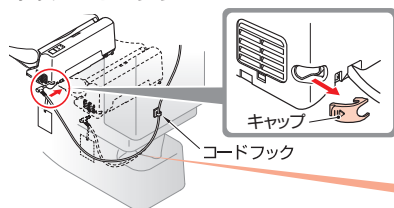
#### ① ウォシュレットを施工する ←ウォシュレット施工説明書を参照

**注意** ウォシュレットを施工した後、プラグの取り付けと便器洗浄モードの設定が必要です。

#### ② ウォシュレットの電源プラグを抜く

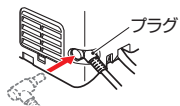
#### ③ プラグ(便器洗浄ユニット)を取り付ける

##### ① キャップをはずす



コードの長さは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。

##### ② プラグを横向きで根元まで確実に差し込む



##### ③ キャップを取り付ける



#### ④ ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

### 5 コンパクトリモデル 便器洗浄モードの設定



リモコンで便器洗浄させるために次の設定が必要です。  
手順にそって設定してください。

※リモコン送信部をウォシュレット受信部に向けて設定する。

※ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

#### ① 止+ビデ:10秒以上押す



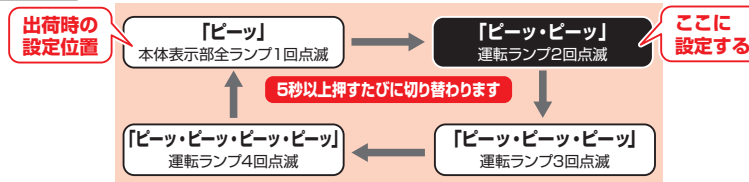
▶ リモコンのランプが全点滅します。

※ノズルそうじ入/切ボタンを5秒以上押すと、電子音とランプ点滅の回数で、現在の設定位置を確認できます。

#### ② おしり:5秒以上押す



▶ ウォシュレットから電子音が「ピーッ・ピーッ」と鳴ると同時にウォシュレット本体表示部の運転ランプが2回点滅する位置に設定する。設定位置になるまで②の作業を行ってください。



#### ③ ノズルそうじ:5秒以上押す

▶ 正しい設定位置に設定されているかを確認する。  
ウォシュレットから電子音が「ピーッ・ピーッ」と鳴ると同時にウォシュレット本体表示部の運転ランプが2回点滅するかを確認する。設定位置になるまで②の作業を行ってください。

#### ④ 止:押す



▶ 設定完了

### 6 作動確認

次のようにハンドルが作動するかを確認ください



「流す」スイッチを押す ▶ ハンドルが大側に回転する

※連続して押すと作動しません。約10秒たってから、もう一度スイッチを押してください。

### 7 必ず19ページの「試運転と作動確認」を行うこと

▶ 次ページの5 便器洗浄モードの設定へ

B  
コンパクトリモデル

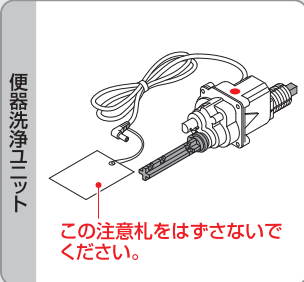
# パブリックリモデル (タンク式)

ロータンク用部品

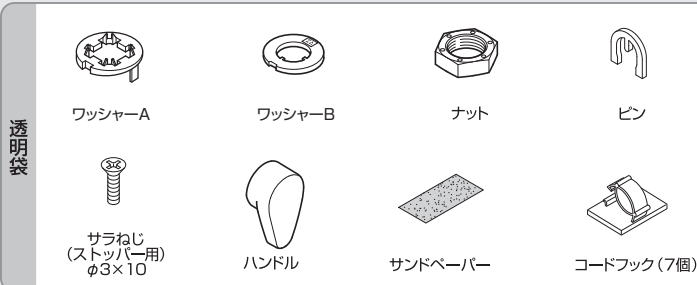
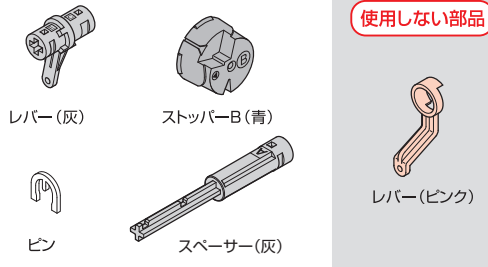
SS594B系  
SS595B系

**赤色袋** は使用しません。

使用部品

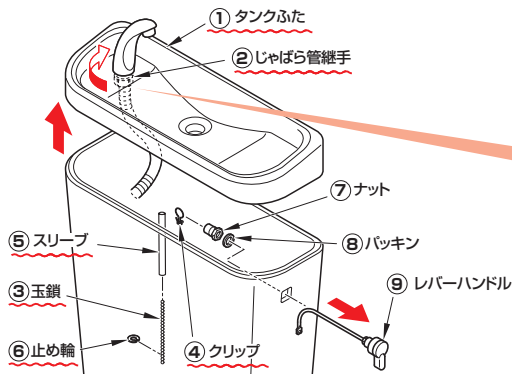


緑色袋



## 1 既設レバーハンドルの取りはずし

止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜いてから①～⑨の手順で部品を取りはずす



①～⑥の部品は、便器洗浄ユニットの取り替え後も使用しますので捨てないでください

手洗付の場合は、じゃぼら管継手をゆるめて取りはずす

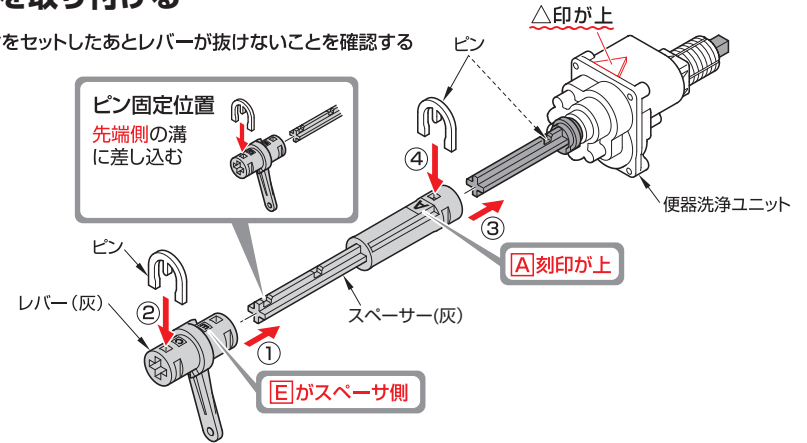
※⑤、⑥の部品が既設されていない場合があります。(その場合、P.16の⑩の「スリーブと止め輪を取り付ける」の手順が不要です。)

※機種によって部品・ロータンクの形状が異なります。

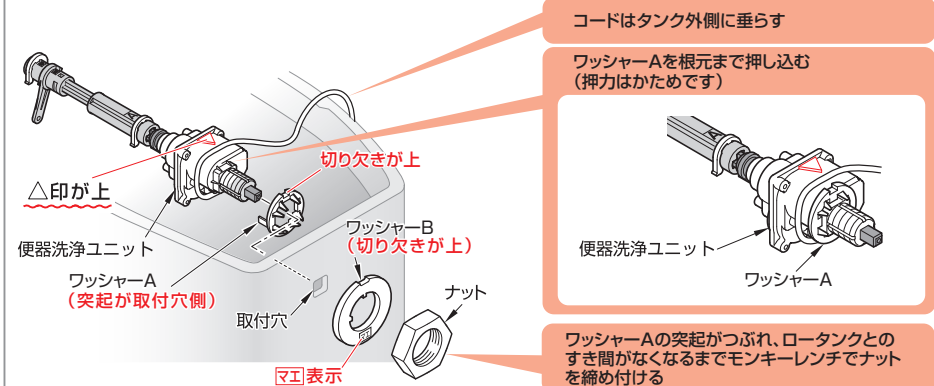
## 2 便器洗浄ユニットの取り付け

①便器洗浄ユニットの△印を上にしてレバー(灰)、スペーサー(灰)、ピンを取り付ける

※ピンをセットしたあとレバーが抜けを確認する

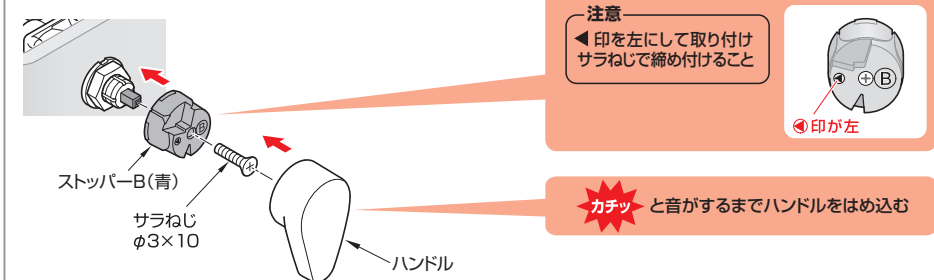


②便器洗浄ユニットの△印を上にしてロータンクに取り付ける



ワッシャーAの突起がつぶれ、ロータンクとのすき間がなくなるまでモンキーレンチでナットを締め付ける

③ハンドルを取り付ける

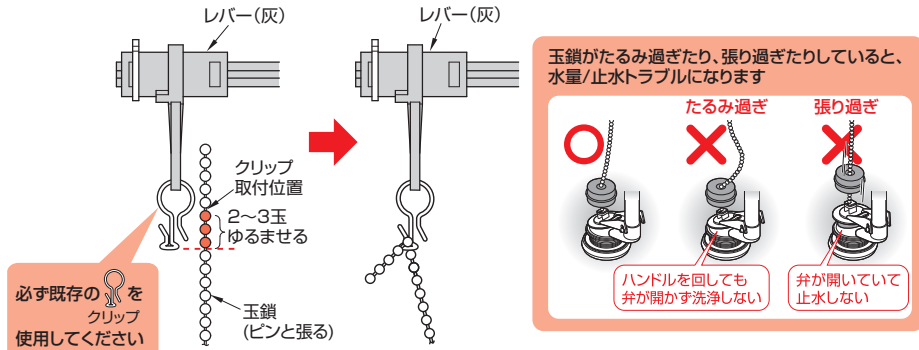


カチッ と音がするまでハンドルをはめ込む

C パブリックリモデル (タンク式)

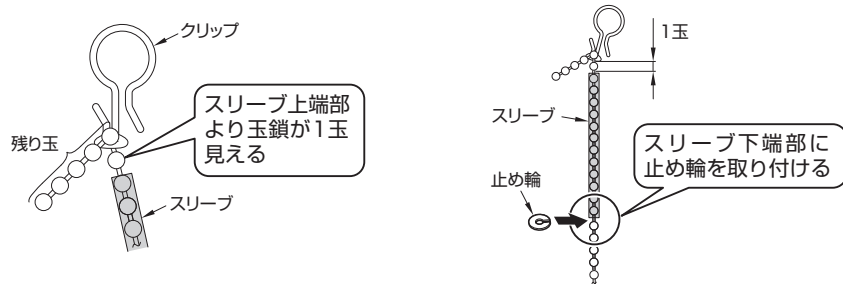


### ④クリップをレバーに取り付け、玉鎖を排水弁が上がらない程度に張り、2〜3玉ゆるませてクリップに取り付ける

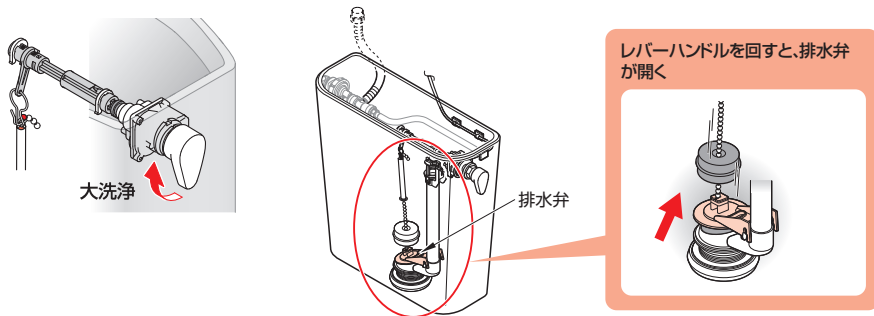


### ⑤スリーブと止め輪を取り付ける (スリーブと止め輪が既設されている場合のみ)

- ①クリップからの残り玉数を数える。
- ②クリップから玉鎖を外した後、玉鎖にスリーブを挿入し、①で確認した残り玉数の位置にクリップを取り付ける。
- ③スリーブ上端部より玉鎖が1玉見えるようにスリーブ位置を調整する。
- ④スリーブ下端部に止め輪を取り付ける。

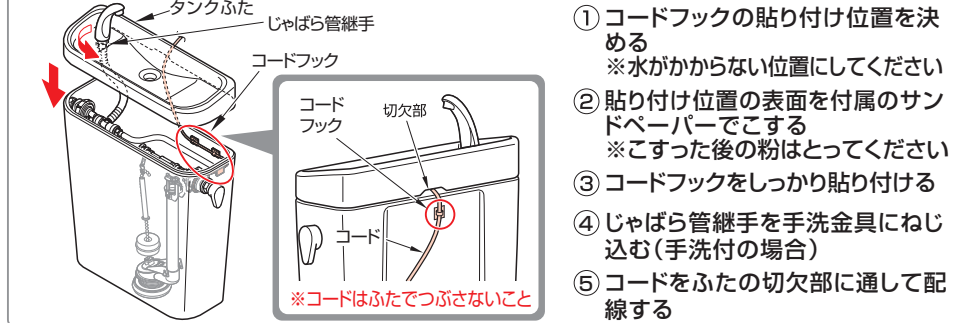


### ⑥ハンドルと排水弁の作動を確認する レバーがボールタップなどに干渉しないこと



## 3 コードを配線する

### コードを配線し、じゃばら管継手、タンクふたを取り付ける



## 4 ウォシュレットにプラグ(便器洗浄ユニット)を接続する

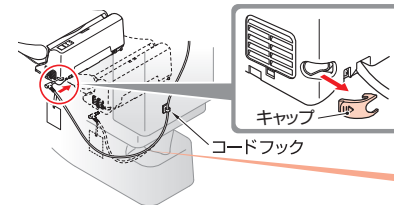
### ①ウォシュレットを施工する ←ウォシュレット施工説明書を参照

**注意** ウォシュレットを施工した後、プラグの取り付けと便器洗浄モードの設定が必要です。

### ②ウォシュレットの電源プラグを抜く

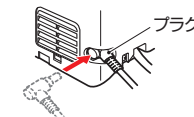
### ③プラグ(便器洗浄ユニット)を取り付ける

- ①キャップをはずす



コードの長さは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。

- ②プラグを横向きで根元まで確実に差し込む



- ③キャップを取り付ける



### ④ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

## 5 パブリックリモデル (タンク式) 便器洗浄モードの設定

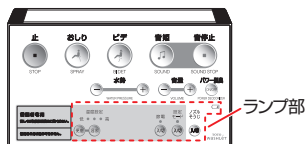
リモコンで便器洗浄させるために次の設定が必要です。  
手順にそって設定してください。

※ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

※リモコン送信部を  
ウォシュレット受信部に  
向けて設定する。



### ① 止+ビデ:10秒以上押す



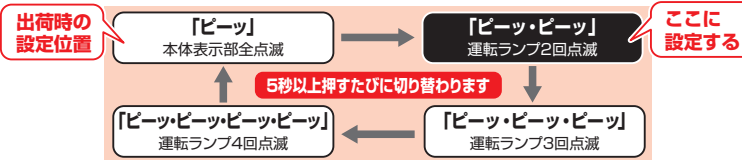
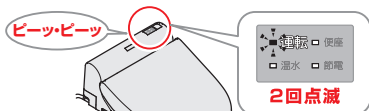
▶ リモコンのランプが全点滅します。

※ノズルそうじ入/切ボタンを5秒以上押すと、電子音とランプ点滅の回数で、現在の設定位置を確認できます。

### ② おしり:5秒以上押す



▶ ウォシュレットから電子音が「ピーツ・ピーツ」と鳴ると同時にウォシュレット本体表示部の  
運転ランプが2回点滅する位置に設定する。設定位置になるまで②の作業を行ってください。



### ③ ノズルそうじ:5秒以上押す

▶ 正しい設定位置に設定されているかを確認する。  
ウォシュレットから電子音が「ピーツ・ピーツ」と鳴ると同時にウォシュレット本体表示部の  
運転ランプが2回点滅するかを確認する。設定位置になるまで③の作業を行ってください。

### ④ 止:押す

▶ 設定完了



## 6 作動確認

次のようにハンドルが作動するかを確認ください



「流す」スイッチを押す ▶ ハンドルが大側に回転する

※連続して押すと作動しません。約10秒たってから、もう一度スイッチを押してください。

## 7 必ず19ページの「試運転と作動確認」を行うこと

## 試運転と作動確認

うまく動かない場合は裏表紙の「不具合がおこったときのアドバイス」をご覧ください。

### 1 ロータンクの止水栓を開ける

### 2 手で便器洗浄を確認する

ハンドルを手で操作して、便器洗浄が正常に行われることを確認する

#### 正常に作動しない場合

- レバーは正しく取り替えましたか?
- 玉鎖がたるみすぎたり張りすぎたりしていませんか?

### 3 リモコンで便器洗浄を確認する

「流す」スイッチを押して便器洗浄を行うことを確認する

※連続して押すと作動しません。約10秒たってから、もう一度スイッチを押してください。

#### 正常に作動しない場合

C420、C710・C720系、コンパクトリモデル、パブリックリモデル (タンク式) は  
便器洗浄パターンに合わせてリモコンでのモード設定が必要です。

- リモコンでモード設定しましたか?

C420、C710・720系の場合	8ページ参照
コンパクトリモデルの場合	13ページ参照
パブリックリモデル(タンク式)の場合	18ページ参照

- ウォシュレットの電源プラグは差し込んでいますか?
- リモコンの電池は入っていますか?
- 便器洗浄ユニットとウォシュレットの接続は確実にされていますか?

### 4 ボールタップの作動確認を行う

作動中にレバーがボールタップの浮玉に当たると、便器洗浄の作動不良やボールタップの止水不良の可能性があります。

浮玉が真下に降りるように正しく取り付けてください。

